

1. 青森県 2. 岩手県 3. 宮城県 4. 福島県

1. 白神山地 2. 屋久島 3. 日本アルプス 4. 吉野

1. 大消費地である東京圏に近い
ため、米の生産よりも野菜や果実の施設
園芸農業に特化している。

2. 夏の高温多湿な気候を最大限に利
用して、米と小麦を同じ土地で栽培
する二毛作が全域で行われている。

3. 他の地方に比べて米の生産額の割
合は低いが、最新のバイオテクノロ
ジーにより熱帯産の作物を生産して
いる。

4. 涼涼な気候や広大な平野を活かし
、あきたこまちなどの産地銘柄米を
大規模に生産している。

1. 秋田県と山形県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。

1. からっ風 2. モンスーン 3. やませ 4. フェーン現象

1. 電子部品は小型で軽量なため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、付加価値が高いため輸送費の負担を抑えられるから。

2. 原料となる鉄鋼などの重い資材を高速道路で海外から直接輸入し、生産コストを大幅に削減する必要があるから。

3. 内陸部は沿岸部に比べて地価が極めて高く、ブランド力を高めるためにあえて高級な立地条件を選んでいるから。

4. 電子部品は重量があり、容積も大きい。ため、鉄道や船舶による大量輸送を前提とした大規模な物流拠点が必要だから。

1. 堺市 2. 仙台市 3. 京都市 4. 広島市

1. 山を越えた風が急激に温度を上げ、猛暑による熱中症のリスクが高まる
2. 日照不足や気温の低下を招き、稲が十分に育たない冷害が発生する
3. 大量の湿った空気が山にぶつかり、冬のような記録的な大雪をもたらす
4. 空気が非常に乾燥し、火災が発生しやすくなるとともに畑作に被害が出る

1. 秋田市 2. 金沢市 3. 高松市 4. 仙台市

1. 赤道付近から北上してくる暖流の黒潮のみが強く流れ込み、年間を通じて水温が非常に高く保たれるため
2. リアス海岸による複雑な入り江が、外海からの強い潮流を遮り、魚の産卵や稚魚の成長に適しているため
3. 北からの寒流である親潮と、南からの暖流である黒潮がぶつかり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため
4. 水深200メートルまでの浅い平坦な地形が広がり、日光が海底まで届くことで光合成が盛んに行われるため

1. 岩手県 2. 秋田県 3. 福島県 4. 宮城県

1. 出羽山地 2. 奥羽山脈 3. 越後山脈 4. 北上高地

1. 本州で最も広い面積を持つ県の県庁所在地は盛岡市であり、北上盆地を中心に農作物の栽培が行われている。

2. 東北地方の6県は、すべて県名と県庁所在地の名称が一致しており、行政上の混乱を防いでいる。

3. サクラランボの生産量が全国1位である県の県庁所在地は山形市であり、県名と都市名が異なっている。

4. 東北地方で最も人口が多い県の県庁所在地は宮城市であり、周辺の平野部では稲作が盛んである。

1. フェーン 2. 季節風 3. やませ 4. からっ風

答え合わせ・解説

問1	答え 2 岩手県	東北地方の太平洋側に面した岩手県の沿岸部は、北部に「リアス海岸」として知られる三陸海岸があります。この地域は水深が深く、親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる潮目（潮境）に近いため、世界的な漁場として知られています。隣接する宮城県や青森県と混同されやすいですが、リアス海岸の代表的な地域として岩手県を特定することが重要です。
問2	答え 1 白神山地	青森県から秋田県にかけて広がるこの地域は、人の手がほとんど加わっていない貴重なブナの原生林が残っていることが高く評価されました。屋久島（鹿児島県）とともに、日本で最初に登録された世界自然遺産の一つです。
問3	答え 4 冷涼な気候や広大な平野を活かし、あきたこまちなどの産地銘柄米を大規模に生産している。	東北地方では、庄内平野や仙台平野などの広大な平野部を中心に、機械化による効率的な大規模稲作が展開されています。かつては夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）による冷害が課題でしたが、品種改良を重ねることで寒さに強く品質の高い「産地銘柄米」の安定生産が可能となりました。その結果、農業産出額に占める米の割合が他地域と比較して突出して高いという構造を持っています。
問4	答え 2 福島県と岩手県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。	東北地方の太平洋側に位置する県のうち、福島県と岩手県は陸地で直接接しておらず、その間に宮城県が位置しています。選択肢に挙げられた他の県同士（青森県と秋田県、秋田県と山形県、岩手県と青森県）はいずれも互いに隣接しています。
問5	答え 3 やませ	この風は北東の海から吹き込み、冷たく湿った空気を運んできます。東北地方を南北に走る奥羽山脈に遮られることで太平洋側の地域に留まりやすく、夏でも気温が上がらない原因となります。冬に関東地方などで吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温になる「フェーン現象」とは異なる特徴を持ちます。
問6	答え 1 電子部品は小型で軽量なため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、付加価値が高いため輸送費の負担を抑えられるから。	山形県では、東北自動車道や山形自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部への工業立地が加速しました。電子部品などの製品は、製品そのものが軽量で高価（高付加価値）であるため、重化学工業のように港湾を利用した大規模な原材料輸送を必要としません。そのため、交通の利便性が高い高速道路沿いの工業団地などに工場が進出する傾向があります。
問7	答え 2 仙台市	仙台市は東北地方の経済・行政の中心地（地方中枢都市）であり、周辺地域から多くの人が通勤・通学するため昼間人口割合が100%を超えます。商業やサービス業が中心であるため、自動車産業などが盛んな広島市と比べて工業製造品出荷額は少なくなっています。
問8	答え 2 日照不足や気温の低下を招き、稲が十分に育たない冷害が発生する	冷たく湿った「やませ」が吹き込むと、太平洋側を中心に厚い雲や霧が発生します。これにより、夏の時期であっても気温が上がらず、日照時間も不足するため、特に米（稲）の生育が悪くなる「冷害」という深刻な農業被害を引き起こす要因となります。かつては大規模な飢饉の原因にもなりました。
問9	答え 4 仙台市	宮城県の県庁所在地は仙台市である。選択肢のうち、秋田市は秋田県の県庁所在地であり県名と一致しているため条件に当てはまらない。金沢市（石川県）と高松市（香川県）は、仙台市と同様に県名と県庁所在地名が異なる都市の例として知られるが、それぞれ北陸地方と四国地方の都市であり、宮城県ではない。
問10	答え 3 北からの寒流である親潮と、南からの暖流である黒潮がぶつかり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため。	東北地方の太平洋沖では、栄養分や酸素を多く含む親潮（寒流）と、暖かい海水を運ぶ黒潮（暖流）が合流します。この「潮目」では、海水の対流によって海底の栄養分が海面近くまで運ばれ、プランクトンが爆発的に増殖します。これにより、寒流系と暖流系の両方の魚が捕れるため、三陸沖は世界三大漁場の一つに数えられています。
問11	答え 3 福島県	福島県は東北地方の最も南に位置しており、太平洋に面した海岸線を持っていますが、その長さは東北の他の沿岸県（岩手県や宮城県など）と比較すると短くなっています。その一方で、隣接する県は宮城県・山形県・新潟県・栃木県・群馬県・茨城県の6県に及び、東北・関東・中部の各地方を結ぶ結節点としての性格を持っています。
問12	答え 2 奥羽山脈	東北地方の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれ、青森県から福島県を経て栃木県境まで連なる日本最長の山脈です。西側にある出羽山地や、東側にある北上高地と位置関係を区別して覚える必要があります。
問13	答え 1 本州で最も広い面積を持つ県の県庁所在地は盛岡市であり、北上盆地を中心に農作物の栽培が行われている。	岩手県は本州で最大の面積を持ち、その県庁所在地は盛岡市です。宮城県の県庁所在地は仙台市であり、宮城市ではない点に注意が必要です。山形県はサクランボの生産で有名ですが、県名と県庁所在地（山形市）は一致しています。東北地方で県名と都市名が異なるのは、岩手県（盛岡市）と宮城県（仙台市）の2県のみです。
問14	答え 3 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な空気が、寒流である親潮の影響でさらに冷やされ、東北地方の太平洋側に流れ込む現象です。この風は濃い霧を伴うことが多く、夏の気温が上がらない原因となります。冬に乾燥した風が吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温乾燥する「フェーン現象」とは性質が異なります。